

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ		
○保護者評価実施期間	R7年1月21日		～ R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	R7年1月21日		～ R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性や状況を受け入れ、本人にとってどのような支援を行っていくか、無理のない目標を設定している。	・「悪い点」や「困り事」ではなく、本人の良いところ、強みちなるところを見つけ、保護者にも伝え、「ありのまま」でいることの受容を大切にしている。	保護者同士での繋がりをもってもらうために、交流会を行った。好評だったので、毎年1回を取り入れていきたい。
2	・その日の本人の状況に合わせた支援を行っている。また、製作物など季節に合わせた活動を行い、保護者とも日々の活動を把握できるようにしている。	・「悪い点」や「困り事」ではなく、本人の良いところ、強みちなるところを見つけ、保護者にも伝え、「ありのまま」でいることの受容を大切にしている。	・他事業所との交流などを計画し、もっと様々な人との交流ができる場を設けていきたい。
3	・事業所の庭や畑、また周囲の自然環境があり、外での活動を取り入れることによって、子どもの気分転換やその時の活動内容に活かされている。	・個別課題を集中して取り組む時間を設け、リズム運動も取り入れたりと、静と動の時間をはっきりさせている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域間の交流が少ないので、事業所だけの活動になってしまう。	・地域イベントの情報等を積極的に収集していない。	・イベント情報収集を細目に行う
2	・事故防止、防犯防止、感染症対策マニュアル等、保護者への伝達が行き届いていない。	・避難訓練を実施しているが、実施したことを連絡帳などで伝えていない。	・マニュアル策定してあるものは保護者に配布していく。契約時や計画説明時に再度、口頭で説明する。
3	・職員の連携不足から、子どもへの声かけが統一されていない。	・児発管を含む職員への指導不足	・研修等を行い、職員のスキルを上げていく。